



児童文学作家
安田夏菜さん

川西市在住。子どもの頃から本が好きで、高校生の時に新聞部に所属し、文字を書く楽しさに目覚める。平成11年に「ビーチウインド 潮の香り」(安田裕子名義)で第49回毎日児童小説コンクール最優秀賞を受賞し、31年に「むこう岸」で、児童文学の創作、評論・研究の優れた単行本に対して与えられる、第59回日本児童文学者協会賞を受賞。また、落語台本でも入選するなど、児童文学だけでなく多方面で活躍中。



①独立した息子の部屋も執筆部屋に②作品のゲラ刷りは努力の証③これまで出版した作品は10冊。それぞれに思い入れが④日本児童文学者協会賞の授賞式

第59回日本児童文学者協会賞を受賞
希望ある話を創りたい

「むこう岸」で描く格差社会、人の分断を乗り越え生まれてきて良かったと感じてほしい



——今回の受賞作品について教えてください

格差社会が生んだ人の分断というテーマについて描こうと思い、エリートの少年と貧困家庭の少女の二人を主人公にしました。生活状況に格差のある二人の出会いが面白いものを生み出すのではないかと考えました。貧困問題を書いたルポルタージュを読むことが多いのですが、救いようのない内容がほとんどです。必要な情報を得て、制度を正しく理解さえすれば自分の希望をかなえられる救いのある話にしたかったんです。読んだ人にとってこの世界は生きるに値するもので、生まれてきてよかったという思いを持ってほしいと思っています。

——普段どのように執筆されていますか

台所やリビング、息子が使っていた部屋などいろいろな場所で物語を考えて書いています。考えが煮詰まった時にはカフェを利用したり、近くの里山を散歩するようにしています。川西は住宅のすぐそばに自然環境があって、自然の中を散歩するのはいい気分転換となり、アイデアが浮かぶこともあるんですよ。

——本の持つ魅力について教えてください

本は活字のため絵が少なく、自分で場面を想像しないとイケないんです。映像や漫画とは異なり、考える力や想像力のトレーニングになります。幼少時から両親が本を読んであげるなど、本にふれる機会を増やしてあげてほしいと思っています。

CHECK & QUIZ 次の空欄(○の中)を埋めてください。
 1:特集 ○の声を聞く一健診からの第一歩 2:仲間と一緒に○ーダーになるセミナー
 クイズ正解者の中から図書カード(1,000円分)を5人に差し上げます(正解者多数の場合は抽選。当選者のみに送付します)。応募方法:市ホームページ(右の2次元コードからアクセス可)から必要事項を送信するか、ハガキにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、興味のある記事と感想を書き、7月10日(水)(消印有効)までに〒666-8501・秘書広報課「クイズ」係へ。
 ※6月号の正解は(バ)(水)で、97件の応募がありました。



5月末現在の人口

男	74,710人 (-49)
女	82,930人 (-24)
計	157,640人 (-73)
世帯数	70,065世帯 (+24)

